

野村サステナビリティクォーターリー バックナンバー

(2020年春号～2024年冬号)

2020年春号(創刊号, Vol. 1 No. 1)

理事長挨拶	創刊によせて	野村資本市場研究所取締役社長 兼 野村サステナビリティ研究センター 理事長 飯山 俊康
時流	世界におけるグリーンファイナンスの展望	気候債券イニシアティブCEO 兼 共同 創業者 ショーン・キドニー
	新型コロナウイルス感染症対応にかかる国際金融社の取り組み	国際金融公社 シニア・ファイナン シャル・オフィサー 安井 真紀
	COVID-19危機を通じた企業と投資家におけるESGの取組方針への影響	ヘッド・オブ・ノムラ・グリーン テック ジェフ・マクダーモット
特集1: 新型コロナウイルス感染症と サステナビリティ	新型コロナウイルス感染症とサステナブルファイナンス	江夏 あかね
	今次パンデミックにおいて求められる情報開示と投資家の対応	西山 賢吾
	新型コロナウイルス (COVID-19) が及ぼす想定外の減損リスク ー求められるリスク情報の積極的な開示ー	板津 直孝
	パンデミックの影響と2020年株主総会・議決権行使	西山 賢吾
特集2: 低炭素経済社会への移行 「トランジション」	サーキュラーエコノミーへの移行と金融資本市場	江夏 あかね、片寄 直紀
	ASEANにおける再生可能エネルギーの利用状況と資金調達の動向	北野 陽平
	EUベンチマーク規則の改正 ー気候ベンチマークとESG関連開示ー	江夏 あかね、磯部 昌吾
ESG/SDGs	ESGの社会 (S) 課題としての「ビジネスと人権」	西山 賢吾
	会社法改正とコーポレートガバナンス改革	西山 賢吾
	欧州における金融市場参加者等を対象としたサステナビリティ開示規則	富永 健司、江夏 あかね
	BOEによる気候関連ストレステスト実施に向けた動き	林 宏美

2020年夏号 (Vol. 1 No. 2)

時流	経済産業省の事業再編実務指針と事業切出し	学習院大学教授 神田 秀樹
	ポストコロナ社会における新しい社会保障の役割	慶應義塾大学経済学部教授・ファイ ナンシャル・ジェロントロジー研究 センター長 駒村 康平
	日本のサステナブルファイナンス・セクター拡充に向けた方策	東京工業大学 環境・社会理工学院 講師 キム・シューマツハ
特集1: 新型コロナウイルス感染症と 「S」(ソーシャル) への着目	新型コロナウイルス (COVID-19) と個人データ保護 ー多国籍企業に求められる取り組みー	板津 直孝
	サステナビリティ課題としての個人データ保護	板津 直孝
	コロナ倒産・廃業が懸念される中での新たな起業のあり方への期待	宮本 佐知子
	新型コロナ問題を踏まえた公立病院の持続可能性とソーシャルボンドによる資金調達	江夏 あかね
特集2: 公的部門のサステナビリティと 資金調達	ASEANにおいて重要性が高まる社会的インパクト投資	北野 陽平
	ウィズコロナ時代のソプリンの資金調達 ーソプリンSDGs債の可能性ー	江夏 あかね、富永 健司
	新型コロナウイルス感染症と地方公共団体の資金繰り ーポストコロナの地方債の安定調達に向けてー	江夏 あかね
ESG/SDGs	コーポレートガバナンス改革 ー第3の道の可能性ー	西山 賢吾
	純減が続く親子上場企業数	西山 賢吾
	サステナブル・ファイナンス・ハブを目指すルクセンブルク	林 宏美
	サステナブル・ファイナンスに特化したルクセンブルク・グリーン取引所 グリーン/ブラウン資産の気候変動リスクの計測 ーNGFSの取り組みから見える現状と課題ー	林 宏美 磯部 昌吾

2020年秋号 (Vol. 1 No. 3)

時流	SDGsと金融経済教育の推進	神戸大学経済経営研究所教授・副所 長 家森 信善
	SDGsの現状と今後の課題ー新型コロナウイルス感染症を踏まえてー	慶應義塾大学政策・メディア研究科 教授 蟹江 憲史 慶應義塾大学政策・メディア研究科 特任助教 高木 超
	新型コロナウイルス感染症の大流行は気候変動対策を後押しするのか、 それとも妨げるのか	チャタムハウス 世界経済・金融プ ログラム ディレクター クレオン・パトラ
特別寄稿	カーボンプライシング (炭素の価格付け) ー脱炭素化に向けて不可欠な要素ー	ノムラ・インターナショナル ホー ルセール・ガバナンスオフィサー アンドリュウ・ポウリー
	債券運用におけるESG定量評価モデルとパフォーマンスの検証	野村アセットマネジメント ジェイソン・モーティマー、 長生 太郎
特集1: 社会的課題解決に向けた新論点	新型コロナ禍で揺らぐ所得保障とユニバーサル・ベーシックインカムの可能性	野村 亜紀子
	グローバル人権課題への対応が「待ったなし」となる日本企業 社会的課題に対応するソーシャル・ファイナンス ー英国の休眠預金の活用に学ぶー	西山 賢吾 小立 敬
特集2: 教育とサステナビリティ	家計から見た教育投資の価値	宮本 佐知子
	高等教育の持続可能性と大学SDGs債の未来	江夏 あかね
ESG/SDGs	「コロナの影響」を考慮し、「コロナ後」を展望した2020年6月株主総会	西山 賢吾
	我が国上場企業の株式持ち合い状況 (2019年度)	西山 賢吾
	公的セクターのSDGs債の発展と展望ーコロナ禍での論点ー	江夏 あかね
	日本の社債市場で発行が拡大するグリーンボンドと今後の注目点	富永 健司
	非財務情報開示の現状の課題と内閣府令の改正 香港取引所が設立を公表したグリーン・サステナブル取引所STAGE	板津 直孝 林 宏美、加藤 貴大
資本市場からの資金調達の重要性が高まるインドの再生可能エネルギーセクター	北野 陽平	

2021年冬号 (Vol. 2 No. 1)

	「持続すべきもの」は何かーインフラ老朽化問題から見えるものー	東洋大学大学院教授・公民連携専攻長 根本 祐二
時流	環境政策とエンゲージメント	慶應義塾大学総合政策学部教授、Federated Hermes EOS 上級顧問 白井 さゆり
	シュタットベルケのサステナビリティ戦略と日本への示唆	立命館大学経営学部教授 ラウバツハ・スミヤ・ヨーク
特別寄稿	見えない価値を可視化するー第1回 見えない価値をなぜ可視化するのかー	野村インベスター・リレーションズ (野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員) 佐原 珠美
	ESGと信用格付ーESG要素が信用力評価に与える影響ー	野村証券IBビジネス開発部 (野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員) 今川 玄
特集1: 高まるESG評価への注目	重要性が高まるESG評価の現状と課題	富永 健司
	サステナビリティ指標を取り入れた業績連動報酬の課題	板津 直孝
特集2: 環境面の新機軸	カーボンプライシングと金融資本市場ー新たなESGの評価軸への期待ー	江夏 あかね
	生物多様性がもたらす金融リスクおよび機会への取組みー気候変動と並ぶ環境 (E) ファクターー	林 宏美
特集3: 社会的課題とファイナンス	新型コロナウイルス感染症問題下で進展するグリーンリカバリーとトランジション・ファイナンス	江夏 あかね
	環境面でサステナブルな経済活動を分類するEUタクソノミーー分類基準の概要と金融規制等における利用ー	磯部 昌吾
ESG/SDGs	欧州におけるソーシャル・ファイナンスー市場の発展のためのレシビから学ぶー	小立 敬
	大学教育投資の産業別収益率ー家計から見た教育投資の価値 (2) ー	宮本 佐知子
ESG/SDGs	2021年日本のコーポレートガバナンス改革の注目点	西山 賢吾
	ESG投資: 引き続き個人への認知度向上が課題ー個人投資家アンケートに見るESG、ESG投資への関心ー	西山 賢吾
ESG/SDGs	米国の州政府・地方公務員年金基金で進む包括的なESG投資の拡充	林 宏美、加藤 貴大
	2021年度地方債計画ーリーマンショック時の教訓を活かした起債運営の工夫ー	江夏 あかね

2021年春号 (Vol. 2 No. 2)

時流	ESGと企業経営のあるべき姿ー経営者の力が差別化要素となるー	東京都立大学大学院経営学研究科教授 松田 千恵子
	ASEAN域内のサステナブルファイナンス市場の見通し	アジア開発銀行 金融セクター・スペシャリスト コシタル・ブオンソフォル
特別寄稿	見えない価値を可視化するー第2回 企業にとって重要な指標とは? 環境「E」: 「CO2排出量さえ開示すればよいのか」ー	野村インベスター・リレーションズ (野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員) 佐原 珠美
	グローバル国債の気候変動リスク定量化とベンチマーク戦略ー気候対応ベンチマークとキャリアー・ロールダウン戦略の統合ー	FTSE Japan Ltd. シニア・ディレクター 売野 隆一 野村証券株式会社 マネージング・ディレクター 菊川 匡
特集1: インパクト金融の潮流	ESG時代の新たな投資アプローチーポートフォリオのESGクオリティ向上とコンセンサスレーティング・ESGオーバーレイのポテンシャルー	ノムラ・セキュリティーズ・インターナショナル ヘッド・オブ・クオンティティティブ・エグジティブ・ストラテジー ジョゼフ・メズリッチ
	持続可能な社会の実現に向けて不可欠なインパクトファイナンス	江夏 あかね
特集2: サステナビリティ開示の進化	社会的インパクトに焦点を当てるソーシャル・バンクトリオドス銀行の事例に学ぶー	小立 敬
	多様化するサステナビリティ報告の現状と課題ーIFRS財団の協議文書とSASBとの統合ー	板津 直孝
特集3: ESG評価の活用と論点	EUのサステナブルファイナンス開示規則 (SFDR) の開始ー遅延する細則策定と各社の対応ー	磯部 昌吾、富永 健司
	非財務情報開示を拡充する監査報告改革ーKAM (監査上の主要な検討事項) 導入への期待ー	板津 直孝
ESG/SDGs	投資家と指数によるESG評価の活用状況と論点整理	富永 健司
	主体的・能動的な対応が求められるCGコードの改訂	西山 賢吾
ESG/SDGs	日本におけるSDGs債市場の動向と2030年に向けた課題	江夏 あかね
	取締役会の多様性重視の機運と米国ナスダックの上場規則改正案	林 宏美
ESG/SDGs	米国の企業年金プランによるESG投資を巡る議論	岡田 功太、中村 美江奈

2021年夏号 (Vol. 2 No. 3)

時流	サステナビリティと2021年コーポレートガバナンス・コード改訂	学習院大学 教授 神田 秀樹
	ESG評価と企業価値、企業ブランド	早稲田大学大学院 教授 根本 直子
特別寄稿	健康経営の展開と今後	産業医科大学産学生態科学研究所教授 森 晃爾
	ポストコロナ時代に向けた国際開発金融機関の挑戦ー投融资と資金調達における国際金融公社の新たな取組みー	国際金融公社 (IFC) トレジャーラー兼財務担当副総裁 ジョン・ガンドルフ、シニア・ファイナンシャル・オフィサー 安井 真紀
特集1: サステナビリティと認証・評価	信用格付におけるESG要素の透明化ーESGに起因する格付アクションー	野村証券IBビジネス開発部 (野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員) 今川 玄
	マルチラセットを対象としたESGスコアの開発と検証	野村アセットマネジメント 江口 朋宏、田村 彩香
特集2: アジアにおけるサステナブルファイナンスの進展	諸外国・地域のサステナブルファイナンス関連認証ラベルの現状と注目点	江夏 あかね、林 宏美、富永 健司
	不動産セクターとサステナブルファイナンスー評価・認証制度と共に続く発展ー	江夏 あかね、加藤 貴大
ESG/SDGs	シンガポールにおけるサステナブルファイナンスー公的部門主導の発展への期待ー	北野 陽平
	IFRS財団とEUが示すサステナビリティ情報開示の2つの方向性ーソーシャルとフィナンシャル・インパクトの議論ー	板津 直孝
ESG/SDGs	自然資本関連リスク等の情報開示整備に向けたTNFDの正式発足ーTCFDの自然資本版ー	林 宏美
	拡大する世界のサステナブル投資残高ー米国の世界最大にー	西山 賢吾
ESG/SDGs	3分の2を超えた日本の純投資家保有比率ー「緊張感を孕んだ相互信頼関係」の構築が重要にー	西山 賢吾
	親子上場の状況 (2020年度末)ー4年ぶりに2桁の純減にー	西山 賢吾

2021年秋号 (Vol. 2 No. 4)

	非財務情報開示の論点—ESG評価とESG投資のパラダイムシフト—	高崎経済大学 学長 水口 剛
	ポストコロナ禍でのESG地域金融—事業性評価の深化を目指せ—	神戸大学経済経営研究所長・教授 家森 信善
時流	脱炭素成長とカーボンプライシング	京都大学大学院 経済学研究科/地球 環境学堂 教授 諸富 徹
	ネットゼロ移行に向けて明確な姿勢を示すことが求められる中央銀行と金融監督当局	ロンドン大学 東洋アフリカ研究 学院 教授 ウルリッヒ・フォルト
	カーボンプライシングへの市場メカニズム導入と森林投資	関 雄太
特別寄稿	見えない価値を可視化する —第3回 企業にとって重要な指標とは? 社会「S」:「女性管理職比率で多様性が測れるか」—	野村インベスター・リレーションズ (野村資本市場研究所 野村サステナ ビリティ研究センター 客員研究員) 佐原 珠美
特集1: ESG評価をめぐる論点	ESG投資の拡大と市場参加者に求められるESG評価の理解 —ESG評価の特徴と評価間のばらつきの特例—	富永 健司
	存在感を増すESG評価・データと規制当局の関与の検討 —信用格付けの歴史から得た教訓—	江夏 あかね
	ESG要素が企業業績や株価等に与える影響 —ESGパフォーマンスをめぐる先行研究のレビュー—	林 宏美、加藤 貴大
	EUグリーンボンド基準 (EU GBS) の規則案の公表と今後の論点 —EUタクソノミーとの整合性と外部評価の厳格化がカギに—	江夏 あかね、富永 健司
特集2: 中国における カーボンニュートラルの進展	カーボンニュートラルの実現を目指す中国 —カギとなるエネルギー構造と産業構造の低炭素化—	関 志雄
	中国の2060年カーボンニュートラル実現に向けた金融支援策 —市場メカニズムの活用による排出量削減に向けて—	関根 栄一
ESG/SDGs	人的資本の報告ガイドライン国際規格ISO30414—注目度高まる人的資本の情報開示—	西山 賢吾
	インパクト投資と受託者責任—社会的・環境的インパクトと経済的リターンの議論—	板津 直孝
	2021年6月株主総会と議決権行使 —コロナ対応、環境関連の株主提案への対応に特色が見られた—	西山 賢吾
	EUの新たなサステナブルファイナンス戦略	磯部 昌吾
	僅差で認可された取締役会の多様性要件を含むナスダックの改正上場規則	林 宏美

2022年冬号 (Vol. 3 No. 1)

	1万人×1万箇所=1億人—地域を持続可能にする拠点集約化プラン—	東洋大学大学院 教授・公民連携専攻 長 根本 祐二
	SDGsに貢献するサステナビリティ経営と企業価値	神戸大学経済経営研究所 副所長・ 教授 西谷 公孝
時流	気候変動を緩和するか、気温上昇を受け入れるか —日本企業が設定する環境パフォーマンス目標に関する実証研究の結果—	早稲田大学 商学大学院 准教授・ガ バナンス&サステナビリティ研究所 所長 ジョエル・マレン
	カーボン取引市場の進化	ノムラ・インターナショナル ホール セール・ガバナンスオフィサー アンドリュウ・ポウリー
特別寄稿	信用格付におけるESGスコアの事例 —Moody's, S&Pが順次公表、評価に差異も—	野村証券IBビジネス開発部 (野村資 本市場研究所 野村サステナビリティ 研究センター 客員研究員) 今川 玄
特集1: 気候変動問題の ビジネス・ソリューション	気候変動問題の解決に取り組むクライメイトテック —誰がCO2削減のためのイノベーションに投資するのか?— 排出権取引をビジネス化する欧州金融業界	竹下 智 磯部 昌吾
特集2: 気候関連リスクの 金融規制監督と開示	気候関連金融リスクのバーゼル規制上の取扱い —提案されたプリンシプル・ベースの監督・規制の枠組み—	小立 敬
	プライム市場で求められる気候関連情報開示 —TCFDの提言に基づく開示と現状の課題—	板津 直孝
ESG/SDGs	人工知能 (AI) 技術を活用するESG評価の現状と課題	富永 健司
	ジェンダー関連金融と日本のサステナビリティ課題解決に向けた論点	江夏 あかね、植田 剛将
	個人投資家への漸進的な浸透が続くESG、ESG投資 —若年層に向けたアプローチは課題—	西山 賢吾
	500兆円を超えた日本のサステナブル投資残高 —運用手法や資産クラスも多様化—	西山 賢吾
	2022年度地方債計画—持続可能な財政運営と脱炭素化の両立に向けて— ESG要素の取り込みを通じてブランド力強化を図るロンドン証券取引所 グリーンファイナンスの促進に向けたASEANの取り組み —ASEANタクソノミーの導入を中心に—	江夏 あかね 林 宏美 北野 陽平

2022年春号 (Vol. 3 No. 2)

	環境・社会的課題解決に向けて期待されるブレンデッド・ファイナンス	慶應義塾大学総合政策学部 教授 白井 さゆり
	持続可能なインバウンド・ビジネスと日本型サーチャンドの可能性 —地域ビジネス活性と観光との連携—	早稲田大学 教授 池上 重輔
時流	SDGsに貢献するPPPの取り組み—People-first PPPとその実践事例—	東洋大学大学院 教授 難波 悠
	責任投資の魂とステークホルダー資本主義	PRI (国連責任投資原則) 理事・日本 生命保険 執行役員 木村 武
	EUソーシャル・タクソノミーの導入に向けて—長い道のりの第一歩—	ノムラ・インターナショナル 投資銀 行部門 ヘッド・オブ・サステナブル ファイナンス ヤレック・オルシュカ
	ディーリングルームにも浸透してきた道義心を重んじる取引慣行	ノムラ・インターナショナル ホール セール・ガバナンスオフィサー アンドリュウ・ポウリー
特別寄稿	見えない価値を可視化する —第4回 ガバナンス「G」:「サステナビリティを含めたガバナンスの可視化とは」—	野村インベスター・リレーションズ (野村資本市場研究所 野村サステナ ビリティ研究センター 客員研究員) 佐原 珠美
特集1: ネットゼロ達成に向けた展開	気候リスクに対応する金融監督・規制の現在と将来 —バーゼルIIIはどのように対応できるのか?—	小立 敬
	炭素国境調整メカニズムを講じる欧州の動向 —国際課税を通じた気候関連の移行リスク—	板津 直孝
	ネットゼロの達成に向けて発展するグリーン国債 —英国の個人向けグリーン国債の事例—	江夏 あかね、富永 健司
	シンガポールで注目が高まるカーボンプレジット取引 —国際的な取引所ACXとCIXの動向を中心に—	北野 陽平
特集2: 日本企業のESG対応と課題	2022年議決権行使の注目点 —「プライム市場」と「サステナビリティ課題」への対応が中心—	西山 賢吾
	我が国上場企業の株式持ち合い状況 (2020年度) —緩やかな持ち合い解消、政策保有株式削減の動きが続く—	西山 賢吾
ESG/SDGs	不平等の是正に向けた取り組みと金融 —日本におけるSDGsの目標10の達成に向けて—	江夏 あかね、加藤 貴大
	注目されるIFRSサステナビリティ開示基準 —TCFDと同等の枠組みに基づく国際的な基準開発の進展— IOSCO報告書に見るESG評価・データの活用及び対話の重要性	板津 直孝 富永 健司

2022年夏号 (Vol. 3 No. 3)

	有価証券報告書の定時株主総会前提出への道	学習院大学 教授 神田 秀樹
	情報開示KPIの議論を超えてー戦略立案・落とし込み・実行ー	東京理科大学大学院 教授 加藤 晃
	地域経済エコシステムと地域金融機関のサステナビリティ	日下企業経営相談所 代表 日下 智晴
時流	サステナブルファイナンスは何処へ向かうのか ー気候/人権対応を踏まえたESG投資とリスクマネジメントー	第一生命ホールディングス(株) 経営企画ユニット フェロー 兼 第一生命保険(株) 運用企画部 フェロー 鎌谷 美幸
	職場を通じたファイナンシャル・ウェルネスの追求	野村資本市場研究所 研究部長・野村資産形成研究センター センター長 野村 亜紀子
特別寄稿	サイバーリスクと信用格付 ー警戒強める格付会社、攻撃前でも格下げの可能性ー	野村證券IBビジネス開発部 (野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員) 今川 玄
	野村証券アナリストの目を通した日本企業のESG対応 ー環境を中心に事業機会と捉える前向きな動きも広がるー	野村証券エクイティ・リサーチ部 ESGチームヘッド 若生 寿一
特集1: 非財務情報開示の展開	IFRSサステナビリティ開示基準の策定動向ー公開草案で具体化された開示要件ー	板津 直孝
	人的資本情報開示の近況ー法定開示化の進展と任意開示の深化ー	西山 賢吾
	自然関連リスクと機会に関する情報開示指針TNFDのベータ版公表 ーTCFDとの平仄を合わせた開示を目指した試作版第一弾ー	林 宏美
	気候関連情報開示を要請する米国の動向ーSECが公表した特徴的な規則案ー	板津 直孝
特集2: 新しい資本主義をめぐる論点	持続可能な社会の実現の一助となり得るインパクト加重会計	江夏 あかね
	新しい資本主義と社会的ファイナンス ー社会的課題の解決を図る新たな金融モデルの推進ー	小立 敬
	米国のベネフィット・コーポレーション ー社会的課題の解決を後押しする企業形態ー	橋口 達
	クリエイティブ・エコノミーへのインパクト投資 ー文化芸術団体による新たな資金調達手段ー	竹下 智
ESG/SDGs	「真のESG投資」に資するESG投資戦略の明確化 ーESG統合フレームワークの活用によるESG統合の深化への期待ー	富永 健司
	生物多様性の視点を投資判断に統合することを目指す取組み ーオランダの大手資産運用会社ロベコ事例ー	林 宏美
	香港のカーボンニュートラルへの取り組みと個人向けグリーン政府債	富永 健司
	親子上場の状況 (2021年度末) ー前年度比29社純減: 東証の市場改革で企業再編が加速ー	西山 賢吾

2022年秋号 (Vol. 3 No. 4)

	サステナブルファイナンスの現在地	高崎経済大学 学長 水口 剛
	サステナブルバンキングと日本の地域金融機関	神戸大学経済経営研究所長・教授 家森 信善
時流	カーボンニュートラル達成へ向けたカーボン・クレジットの活用 ー「カーボン・クレジット・レポート」を読み解くー	早稲田大学環境経済・経営研究所 所長、経済産業研究所 フェルタルティフェロー 有村 俊秀、早稲田大学環境経済・経営研究所 研究助手 森村 将平
	持続可能な財政の重要性	政策研究大学院大学 教授 羽白 淳
特別寄稿	グリーンウォッシュ問題への対応が進むー年金基金の対応を考えるー	野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング コンサルタント 高田 晴夏
	見えない価値を可視化するー第5回「サステナビリティ経営の可視化」ー	野村インベスター・リレーションズ (野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員) 佐原 珠美
	サイバーリスクと企業価値ー今、投資家に求められることはー	野村総合研究所 上級研究員 三井 千絵
	持続可能で強靱な投資のためのサイバーセキュリティ評価のESG・信用リスク分析への統合	野村アセットマネジメント 債券サステナブル・インベストメント・ヘッド ジェイソン・モーターマー
特集1: 非財務情報開示の進展	重要性が高まる非財務情報開示と今後の論点	江夏 あかね
	TCFDの自然資本版TNFDのベータ版第二弾公表 ー評価指標と情報開示指標を区別するアプローチー	林 宏美
	企業サステナビリティ報告指令原案の暫定合意 ー拡大するEU域外企業グループへの影響ー	板津 直孝
	金融機関の投資先からの温室効果ガス排出量の開示 ー持続可能なポートフォリオの構築ー	板津 直孝
特集2: 人権問題への焦点	PCAF基準及び温室効果ガス排出量の削減目標を通じて脱炭素化を推進する資産運用会社等の挑戦	富永 健司
	日本でも注目される人権デュー・デリジェンス ー社会課題の中核である人権尊重への取り組みー	西山 賢吾
ESG/SDGs	機関投資家から見たサイバーセキュリティ ーサステナブルな情報化社会実現に向けた論点整理ー	江夏 あかね
	サステナブル・ファイナンスへの活用が期待されるブレンデッド・ファイナンス	小立 敬
	株式保有構造の変化が促す「企業と株主・投資家との新しい関係」構築	西山 賢吾
	グリーンファイナンスのハブを目指すシンガポール初のグリーン国債発行	北野 陽平
	欧州ESG市場を席巻する米国の金融事業者	磯部 昌吾

2023年冬号 (Vol. 4 No. 1)

	SDGsの限界と展望	東洋大学大学院 教授 公民連携専攻長 根本 祐二
	「ネット炭素税」による最適ポートフォリオの再構築とグリーンボンド	慶應義塾大学経済学部 名誉教授 吉野 直行
	サステナビリティ情報の法定開示分析 (Analysis) と統合 (Synthesis) - ルールを編み出すEUと気候変動対策	東京都立大学大学院 経営学研究科 教授 松田 千恵子
	IPCC報告書と環境ファイナンス-求められる社会システムの変革-	関西大学 商学部 教授 高屋 定美
	気候変動及び脱プラスチックによる世界経済の変化	杏林大学総合政策学部 教授 齊藤 崇
時流	マレーシアにおける環境・社会・ガバナンス (ESG) 投資-課題と機会-	マレーシア資本市場研究所 (ICMR) アソシエイト・ディレクター ゴビ・クリシュナン K.K ヴィジャヤ ラガヴァン マレーシア資本市場研究所 (ICMR) データ・アナリスト ジュリアナ・ロスラン
	サステナブル・ファイナンスの次の局面	ノムラ・インターナショナル 野村グループ・サステナビリティ・ ストラテジー マネージング・ディレ クター アンドリュー・ボウリー
特集1: 金融機関のサステナビリティ 経営の焦点	ガバナンスの一環としてのサプライチェーンマネジメント -企業価値向上のために不可欠な経営戦略へ-	野村証券 エクイティ・リサーチ部 ESGチームヘッド 若生 寿一
	重要性の概念が異なるGHGプロトコルとPCAF -投資先のGHG排出量を開示する目的の明確化が重要- 気候関連金融リスクの監督・規制の現状と課題 -政策ツールの開発における初歩的な知見-	板津 直孝 小立 敬
特集2: 米国におけるESGの潮流	米国年金プランのESG投資を巡る政策 -ESGファンド事業に伴う政治的リスクの増大- インパクト投資の国際的な潮流 -受託者責任とインパクト測定に有用な枠組み-	岡田 功太、中村 美江奈 板津 直孝
	近年浮上した生物多様性ファンド設定の動き -生物多様性関連データ整備やツール拡充が必須-	林 宏美、 松永 典子 (NHI サステナビリティ推 進室)
ESG/SDGs	健康経営をもたらす効果と市場評価の改善の好循環 -国内企業の健康経営への取り組みの現状と課題-	富永 健司
	2022年6月株主総会議決権行使結果と今後の注目点 -不祥事とサステナビリティへの高い関心-	西山 賢吾
	2022年は個人投資家のESG、ESG投資への関心の高まりに一巡感 -若年層や短期志向投資家では関心が高まる-	西山 賢吾
	2023年度地方債計画 -世界初のグリーン共同発行地方債発行と起債運営に向けた論点-	江夏 あかね
	香港取引所によるカーボンプレジット市場の創設 -グレーターベイエリア統合カーボン市場構築への一歩- 少子高齢化が加速する中国-日本との比較を中心に-	北野 陽平 関 志雄

2023年春号 (Vol. 4 No. 2)

	気候変動に対する中央銀行・金融規制当局の対応	慶應義塾大学総合政策学部 教授 白井 さゆり
	マイナスのバイを切り分ける-人口減少時代の地方自治-	元大津市長・三浦法律事務所 弁護士・OnBoard株式会社 CEO 越 直美
時流	江戸時代の豪商に求められた社会的責任	神戸大学経済経営研究所 准教授 高槻 泰郎
	気候変動政策の捉え方を理解する	国際通貨基金 財政局 局長補 エラ・ダブラモノリス 国際通貨基金 アジア太平洋地域 事務所長 吉田 昭彦
	人口減少・少子高齢化とインフラ老朽化を乗り越えて -地方自治行政の構造的な課題-	野村証券 顧問 黒田 武一郎
特別寄稿	ESGに起因する信用格付アクションの事例 -公的関与の影響はポジティブ・ネガティブ両様-	野村証券IBビジネス開発部 (野村資 本市場研究所 野村サステナビリティ 研究センター 客員研究員) 今川 玄
	脱炭素社会におけるコーポレート・ファイナンス戦略 -事業ポートフォリオ・マネジメント、脱炭素投資の例示-	野村証券金融工学研究センター クオ ンツ・ソリューション・リサーチ部 ストラテジック・ソリューション・ グループリーダー 杉下 裕樹
特集1: 米国のサイバーリスク規制の展開	『気候関連の機会における開示・評価の基本指針』の論点と展望 -GX経営の促進に向けて-	野村ホールディングス サステナビリティ企画部 VP 濱木 ゆかり
	サイバーセキュリティに関わるSECの開示規則案 -広範囲に及ぶインシデントの懸念と情報開示-	板津 直孝
特集2: 非財務情報開示の進展	米国証券市場におけるサイバーセキュリティリスク対処に向けたSEC規則案の公表	江夏 あかね、門倉 朋美
	企業内容等の開示に関する内閣府令等の改正 -サステナビリティに関する企業の取組の開示-	板津 直孝
ESG/SDGs	ESGファンド等に対するSECの情報開示規制案 -ESGウォッシュの懸念と投資家保護-	板津 直孝
	金融向け生物多様性共通会計を目指すPBAF基準 -期待されるTNFD枠組み等との相乗効果-	林 宏美
	トランジション・ファイナンスの現状と脱炭素社会を生き抜くための企業金融	江夏 あかね
	期待される健康経営の普及・深化とESG評価の向上 -米国におけるPDCAサイクル活用の好事例-	富永 健司
	大量保有報告制度の見直しが始まる -ガバナンス改革「残された課題」への取り組み-	西山 賢吾
	我が国上場企業の株式持ち合い比率 (2021年度) -保有合理性とともに資産効率性が一段と注目される-	西山 賢吾
	2023年6月株主総会の注目点 -「資本効率性向上」への関心回帰とガバナンス改革の実質化- 中国とEUの共通・グラウンド・タクソミーの概要 インドの脱炭素化に向けた取り組みの強化 -グリーン国債発行と国内カーボン市場の創設を中心に-	西山 賢吾 宋 良也 北野 陽平

2023年夏号 (Vol. 4 No. 3)

時流	韓国の持続可能な金融の現状と課題：環境と金融 サステナブルファイナンスの本質－これからの運用会社に求められるもの－	延世大学環境金融大学院 主任教授 玄 爽 野村アセットマネジメント 責任投資調査部長 今村 敏之
特別寄稿	市場から評価されるESG開示とは	名古屋商科大学大学院マネジメント 研究科 教授 大槻 奈那
特集1：非財務情報開示の展開	開示枠組の全体像が示されたTNFDベータ版の集大成v0.4 －グローバル生物多様性枠組との関連性が明示されたコア開示指標－	林 宏美
	インパクト加重会計の進展と企業による価値向上に向けた挑戦	江夏 あかね
特集2：アジアの移行金融の進展	脱炭素化への移行に向けた取り組みを強化するASEAN －重要性が高まるトランジション・ファイナンス－	北野 陽平
	グリーンバंध債とトランジションボンドの発展 －中国におけるサステナブルファイナンスの新たな潮流－	宋 良也
特集3：海洋経済の論点	国家・地域戦略としてのブルーエコノミーの展開－日本、セーシェル及びEUの事例－	門倉 朋美、江夏 あかね
	ESG投資の金融商品取引業者等向け監督指針の改正 －日米欧のファンドのESGウォッシュ規制動向－	板津 直孝
ESG/SDGs	自然災害リスクと金融の役割－CATボンドの活用可能性を中心に－	富永 健司
	親子上場状況（2022年度末） －16年間で半減、今後は公開買付制度見直し議論にも注目－	西山 賢吾
	さらなる削減が進む政策保有株式 －「過大な政策株式保有」に対する投資家の厳しい「眼」を反映－	西山 賢吾
	サステナブル投資は「量」から「多様化」、「質」への転換期に －日本のサステナブル投資残高（2022年）－	西山 賢吾
	米民主党政権下のSECによるコーポレートガバナンス規制改革 ファンド投資家に議決権行使をパスルーするブラックロックの ポーティング・チョイス	橋口 達
	EVシフトをテコに日本を追い上げる中国の自動車産業 －注目すべき新興民営企業の台頭と生産のモジュール化－	関 志雄

2023年秋号 (Vol. 4 No. 4)

時流	サステナブル投資とインパクト 個人投資家の金融リテラシーとサステナブルファイナンス 沖縄の貧困問題	高崎経済大学 学長 水口 剛 神戸大学経済経営研究所 教授 家森 信善 財務省 財務総合政策研究所長 渡部 晶
特別寄稿	ミレニアル世代とZ世代のサステナブル・ファイナンスに対する考え方を理解する －マレーシアの観点－	マレーシア資本市場研究所（ICMR） リサーチ責任者 タティン・アイー ダ・ジャスリナ・ジャラルディン マレーシア資本市場研究所（ICMR） リサーチ・アナリスト ナディラ・イブラヒム
特集1：自然資本の計測と開示の展開	自然関連財務情報の開示枠組の最終版を公表したTNFD 自然分野の科学に基づく目標設定方法を公表したSBTN －TNFDの開示枠組と連携－	林 宏美 林 宏美
	特集2：自社株買いの論点	自社株買いにESG要素を採り入れる欧州企業 自社株買い等による短期の株主還元議論 －長期のイノベーション循環とのバランス－
ESG/SDGs	ブルーファイナンスを促進するブルーボンド実務者ガイドと日本の課題	江夏 あかね、門倉 朋美
	企業のサイバーセキュリティリスクとサイバー保険	富永 健司
	日本のCG改革の示唆となる英国CGコード改訂 －方向は異なるがともに取締役会の機能強化を重視－	西山 賢吾
	我が国上場企業の株式持ち合い比率（2022年度） －サステナビリティの観点からも持ち合い解消が注目される可能性－	西山 賢吾
	香港におけるグリーンファイナンスの促進に向けたブロックチェーン技術の活用	北野 陽平

2024年冬号 (Vol. 5 No. 1)

時流	PPPの新しい動き 国際連合気候変動枠組条約第28回締約国会議（COP28）－成果と実績－ 非財務情報に基づく価値の「見える化」－社会・環境価値の定量化－	東洋大学大学院 教授 公民連携専攻長 根本 祐二 野村インターナショナル マネージング・ディレクター、サステナビリティ・マネジメント・オフィサー エラ・チャールフォン 野村ホールディングス サステナビリティ企画部 ヴァイス・プレジデント 濱木 ゆかり 野村インベスター・リレーションズ（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 佐原 珠美
特別寄稿	気候トランジション・ファイナンスに対する世界の動向	慶應義塾大学総合政策学部 教授 白井 さゆり
特集1：アジアのサステナビリティの進展	ネットゼロに向けてカーボンクレジット取引の促進を図るASEAN主要国 持続可能な投資と長期資産形成の促進に向けたタイESGファンドの導入	北野 陽平 北野 陽平
	特集2：サイバーセキュリティと金融規制監督	金融機関に求められるサイバーセキュリティ対応 －日米金融当局・国際機関の動向－ 中国証券業におけるサイバーセキュリティの強化に向けた動き
特集3：地方債の新展開	世界初の共同発行形式によるグリーン地方債 －地域のカーボンニュートラル達成に向けた一歩に－	江夏 あかね
	2024年度地方債計画「金利がある世界」での起債運営の論点－	江夏 あかね
	世界のサステナブル投資残高（2022年） －米と他地域のESGを巡る動きの違いが顕現化－	西山 賢吾
	バーゼル委員会による気候関連金融リスク開示の提案 －第三の柱の下での銀行固有の開示－	小立 敬
ESG/SDGs	初めて公表されたTNFD早期採用者のリスト－国内版で日本が首位－ 発行体がインパクトの包括的管理にコミットするインパクトボンド	林 宏美 江夏 あかね
	2023年6月株主総会議決権行使結果と2024年以降の注目点 －投資家の意思が経営トップ取締役選任議案と株主提案に明示－	西山 賢吾
	英国CGコード改訂：大部分が撤回される－情報開示拡充よりも負担軽減を重視－	西山 賢吾